

## フードバンクとくしまニュース ~2018年5月~

### ●4月 <<寄贈食品>>

- ・すきとく市 野菜 104 kg
- ・ゲットプラザ お菓子 50 kg
- ・コープ自然派事業連合 朝焼きパン 約301 kg
- ・ハローズ テイリー商品 128箱(約615 kg)
- ・その他 多くの市民の方々、渭北公民館や徳島県環境首都課フードドライブの箱から  
約160 kgの食品をいただきました。ありがとうございました。 総合計 1511 kg

### <<提供食品>>

- ・福祉施設や団体、困窮者自立支援相談窓口等にさしあげました。 総合計 735 kg

### ●いきいき安心とくしま子ども食堂

<<4月28日開催>> 場所 労働福祉会館 別館  
メニュー シチュー・朝焼きパン・ヨーグルト  
19名の子どもが参加しました。



5階大ホールで自由に過ごし、1階のクレールで食事を楽しみました。  
シチューとパンはおかわり自由で、お腹いっぱい食べてもらえたのではないかと思います。  
顔見知りの子もたちも増えてきており、たくさんの子もたちが利用できればいいなと思います。

#### <<次回開催予定>>

- ・日時 2018年5月26日(土) 10:00~14:00
- ・場所 労働福祉会館 別館 徳島市昭和町3丁目35-2
- ・メニュー お好み焼き(予定)
- ・参加費 子ども 無料 大人 食事代300円

# 子ども食堂関係者交流会

日時 2018年4月28日(土)

場所 徳島市 ふれあい健康館 第一会議室

体験発表「子ども食堂 in 徳島」

四国大学1年 那佐 みゆき さん

「子ども食堂ってどんなところ？」

「こども食堂安心・安全向上委員会」代表

法政大学教授

湯浅 誠 先生



那佐 みゆき さん



湯浅 誠 先生

## 《講演概要》 「子ども食堂ってどんなところ？」

- ・現状 全国 2300 か所  
自治会、NPO、子育て支援、病院、介護施設、等いろいろな人たちが関わっている。  
吉本興業、スターバックス、楽天等の民間企業も。多様性がいいところ。
- ・役割 一言でいうと、「居場所」。  
「居場所」って？  
① 移住食が確保される所      ② 体験を提供する所  
③ 時間をかけてあげる所      ④ 制度について情報を提供する所
- ・課題 子ども食堂について、周辺の方々の理解を得ること  
どうやって持続できるものにしていくか  
① 人 ② お金 ③ 場所 ④ 連携 ⑤ 保険と保健  
①～③は、必ずないと開催できない。④⑤は、周辺の信頼を得るためにも必要。  
④⑤までやるのは大変だが、やらないと広がっていかない。  
安心・安全プロジェクトでは、保険料3年分を集めようとしている。  
自分たちで何とかしようという姿勢が周辺の信頼や協力を生む。
- ・最後に 子ども食堂の多様性を維持しながら、全体の底上げをしていく。  
地域の交流拠点、子どもの貧困対策の場としてあって当たり前場所にしていく。  
事件・事故が起こらないように無理はしないで進めていく。  
みんなが安心して集まれる場にしていく。